

発行所 田辺三菱製薬株式会社 大阪市中央区北浜2-6-18

# 新 ワクチン 新聞

平成26年 早春号

監修:川崎医科大学小児科学 教授 中野 貴司 先生

平成26年早春号のトピックス

- 咳(せき)が止まらない?長引く咳は要注意!
- 百日せきの治療と予防
- 4種混合ワクチンの接種スケジュール
- 4種混合ワクチンの副反応

## 咳(せき)が止まらない? 長引く咳は要注意!

一般的な風邪の症状でもある咳。しかし、慢性的に続くときは風邪ではないかもしれません。咳が長引く場合に注意しないといけない病気に「百日せき」があります。

百日せきは、百日せき菌による感染症です。鼻水や軽い咳などの風邪症状が始まり、連続的にせき込むようになります。熱が出ることはあまりありません。このような状態が1〜2週間続きますが、風邪の症状と似ているためこの時点で百日せきと気付く人はほとんどありません。

しかし次第に咳がひどくなり、コンコンコンコンと連続した短い咳が5〜10回長く続くといいます。咳発作が長く続くと息ができません。そのため、息継ぎの際には「ブュー」という音を吹いたような音が出ます。また、咳発作は夜の方が起こりやすくなり、咳のために眠れないこともあります。



かかるまえにできること  
その後、咳発作回数は次第に少なくなり、2〜3週間で咳は出なくなりませんが、その後も忘れかけた頃に咳発作が出る場合があります。また、呼

吸器の病気をきっかけに咳発作が再発する可能性もありますので、しばらくは風邪をひかないよう注意する必要があります。

この病気は、百日せき菌に感染してから咳がなくなると回復するまでに2〜3ヵ月かかることから、「百日せき」と呼ばれています。

咳が長引く場合は、百日せきにかかっているかもしれないため、早めに近くの医療機関を受診し、適切な診断と治療を受けましょう。

乳幼児の場合には、咳で呼吸ができず、チアノーゼ(呼吸ができず酸素が欠乏している状態)やけいれんを起こすことがあります。

さらに、6ヵ月未満の乳児は息を吸い込む力が弱く、特に生後3ヵ月未満の乳児は百日せき特有の咳は出ませんが、息がしにくくなっていることから呼吸が止まり、突然死の原因となることがあります。

### 学校保健安全法施行規則により、百日せきにかかった場合は、出席停止の扱いになります。

- ・出席停止の期間の基準 特有の咳が消失するまで
- 又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで

ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでない。

学校保健安全法施行規則、2012年4月改正

## 百日せきの治療と予防

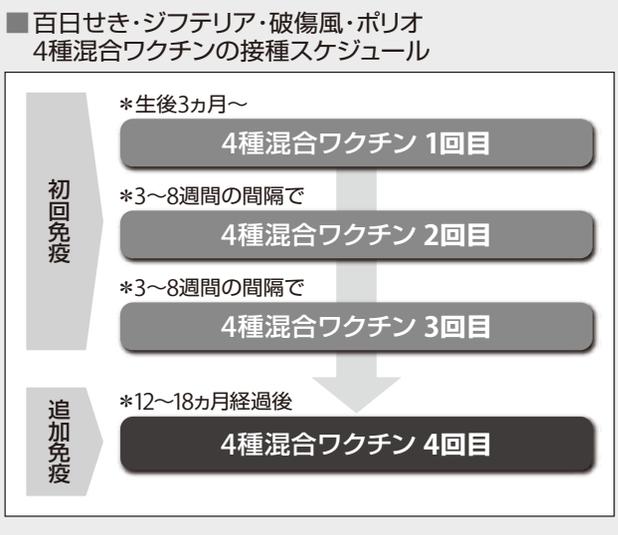
百日せきの治療には、一般的な咳止めの薬はあまり効果がありませんが、有効な抗菌薬を飲めば、菌は体内から排除されます。

しかし、百日せきと診断がつく前に周囲へ感染を広げてしまっているため、かかる前に予防することが大切です。

百日せきの感染予防には、ジフテリア・破傷風・ポリオを含めた4種混合ワクチンの接種を受けることをお勧めします。

## 4種混合ワクチンの接種スケジュール

4種混合ワクチンは、百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオの4つの病気を予防するワクチンで、定期接種として生後3ヵ月から接種を受けることができます。初回免疫として、3〜8週間の間隔で3回接種し、その1年〜1年半後に4回目を接種(追加免疫)します。体調の良い日を選んで、早めに接種を受けましょう。



## 4種混合ワクチンの副反応

4種混合ワクチンは、平成24年秋に国内の2社から発売されました。このうち1社のワクチンについては、発売前に収集されたデータをもとに副反応接種後の好ましくない変化(内容、発症までの日数などが接種回数別に公表されています)。

それによると、主な副反応は、接種した場所が赤くなる、硬くなる、腫れる、または発熱でした。また、副反応の発現は接種2回目に多く、発現時期はほとんどが接種日から3日後まででした。

なお、接種を受けてから数日間は、普段と変わった様子がないかを観察し、気になることがあれば接種を受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

- ＜4種混合ワクチンの主な副反応＞
- 注射部位紅斑(赤くなる)
  - 注射部位硬結(硬くなる)
  - 注射部位腫脹(腫れる)
  - 発熱
- 特に、接種した日から3日後までは副反応に注意しましょう。

正しい知識をもって予防接種を受け、お子さんの健やかな健康を守りましょう。

みずぼうそう、インフルエンザの季節です。

### 【主な感染症がはやる季節】

月	春			夏			秋			冬			春			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
麻疹	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
風しん																
みずぼうそう																
おたふくかぜ																
インフルエンザ																
感染性胃腸炎(ロタ)																
感染性胃腸炎(ノロ)																
ヘルパンギーナ																
手足口病																
咽頭結膜熱(プール熱)																
溶連菌感染症																
突発性発しん																

一般的な流行時期をご紹介しますが、流行する時期は地域によって異なります。  ピーク時  通年

